

決算説明資料（連結）

2018年3月期 第1四半期

インヴァスト証券株式会社

1. 四半期決算概況（2017.4～6）
2. トピックス
3. Mission/Vision・経営戦略
4. 株主還元・配当政策



四半期決算概況（2017.4～6）

2018年3月期 第1四半期決算 (2017.4-6) のポイント

■ 営業収益は9億43百万円 (前年同期比+2.0%)

- 国内金融事業 (当社) の純営業収益は、7億10百万円 (前年同期比 Δ 9.2%)、セグメント利益40百万円 (同 Δ 37.2%) を計上
- 海外金融事業 (豪州子会社 I F S) は、純営業収益2億29百万円 (前年同期比+59.1%)、セグメント利益54百万円 (同+400.0%) を計上
 - 新規口座開設キャンペーンの実施等により、店頭 F X 「シストレ24」の取引量が増加したことや、I F Sの業績好調も反映し、トレーディング損益は、前年同期比+19.3%の7億36百万円
 - 取引所 F X 「くりっく365」の取引量が半減したこと等から、受入手数料は前年同期比 Δ 32.6%の1億46百万円
 - サービス開始1周年を迎えた「トライオート E T F」は、取引量、預り証拠金ともに続伸しており、月次レコードを更新中

■ 販売費・一般管理費は8億43百万円 (前年同期比 Δ 0.6%)

- 取引所 F X の低迷による取引関係費の減少、広告宣伝費の抑制により販売費・一般管理費は減少

■ 営業利益95百万円 (前年同期比+26.5%) 経常利益98百万円 (同+39.1%) 親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円 (同+77.9%)

- 為替差益等による営業外収益5百万円を計上
- 金融商品取引責任準備金戻入による特別利益4百万円を計上

連結業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 1 Q	2018年3月期 1 Q	対前期 増減率
営業収益	924	943	+2.0%
受入手数料	217	146	△32.6%
トレーディング損益	617	736	+19.3%
金融収益	7	11	+55.3%
その他の営業収益	82	48	△41.5%
金融費用	0	4	768.8%
純営業収益	924	938	+1.6%
販売費・一般管理費	848	843	△0.6%
営業利益	75	95	+26.5%
経常利益	71	98	+39.1%
税金等調整前当期純利益	77	103	+33.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	52	94	+77.9%

単体業績サマリー

単位：百万円	2017年3月期 1 Q	2018年3月期 1 Q	対前期 増減率
営業収益	783	715	△8.7%
受入手数料	208	121	△41.8%
トレーディング損益	491	540	+10.0%
金融収益	1	5	+326.0%
その他の営業収益	81	48	△41.3%
金融費用	0	4	+768.8%
純営業収益	782	710	△9.2%
販売費・一般管理費	718	670	△6.7%
営業利益	64	40	△37.2%
経常利益	66	42	△36.3%
税引前当期純利益	72	46	△36.2%
当期純利益	47	37	△22.3%

四半期毎の連結業績推移

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (17/4Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/1Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
営業収益	924	742	833	1,048	943				△10.0%	+2.0%
受入手数料	217	162	180	151	146				△3.3%	△32.6%
トレーディング損益	617	503	565	829	736				△11.2%	+19.3%
金融収益	7	5	5	6	11				+86.6%	+55.3%
その他の営業収益	82	70	81	61	48				△21.4%	△41.5%
金融費用	0	2	0	1	4				+334.2%	+768.8%
純営業収益	924	740	832	1,047	938				△10.4%	+1.6%
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843				△5.6%	△0.6%
営業損益	75	△126	△146	154	95				△38.3%	+26.5%
経常損益	71	△128	△150	137	98				△28.1%	+39.1%
税金等調整前四半期 純損益	77	△128	△128	76	103				+35.0%	+33.1%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	52	△108	△137	73	94				+27.9%	+77.9%

四半期毎の連結業績推移（販管費の内訳）

単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (17/4Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/1Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
販売費・一般管理費	848	866	979	893	843				△5.6%	△0.6%
取引関係費	212	245	327	208	177				△14.8%	△16.5%
(内、広告宣伝費)	(112)	(154)	(223)	(96)	(83)				△14.0%	△25.6%
人件費	233	211	227	243	247				+1.8%	+6.3%
不動産関係費	270	282	301	307	291				△5.2%	+7.8%
(内、システム関連費)※	(224)	(234)	(246)	(248)	(236)				△4.9%	+5.3%
事務費	6	9	6	5	6				+20.5%	△6.8%
減価償却費	88	84	80	80	78				△2.1%	△10.4%
租税公課	23	17	21	30	26				△13.6%	+11.8%
その他	14	15	13	17	15				△13.9%	+4.3%

※システム関連費…主に、店頭F Xの出来高に応じたI Tベンダーへのシステム利用料です。

取引所F Xの出来高低迷による取引関係費の減少、広告宣伝費の抑制により販売費・一般管理費は直前四半期比△5.6%、前年四半期比△0.6%

四半期毎の連結業績推移（セグメント別）

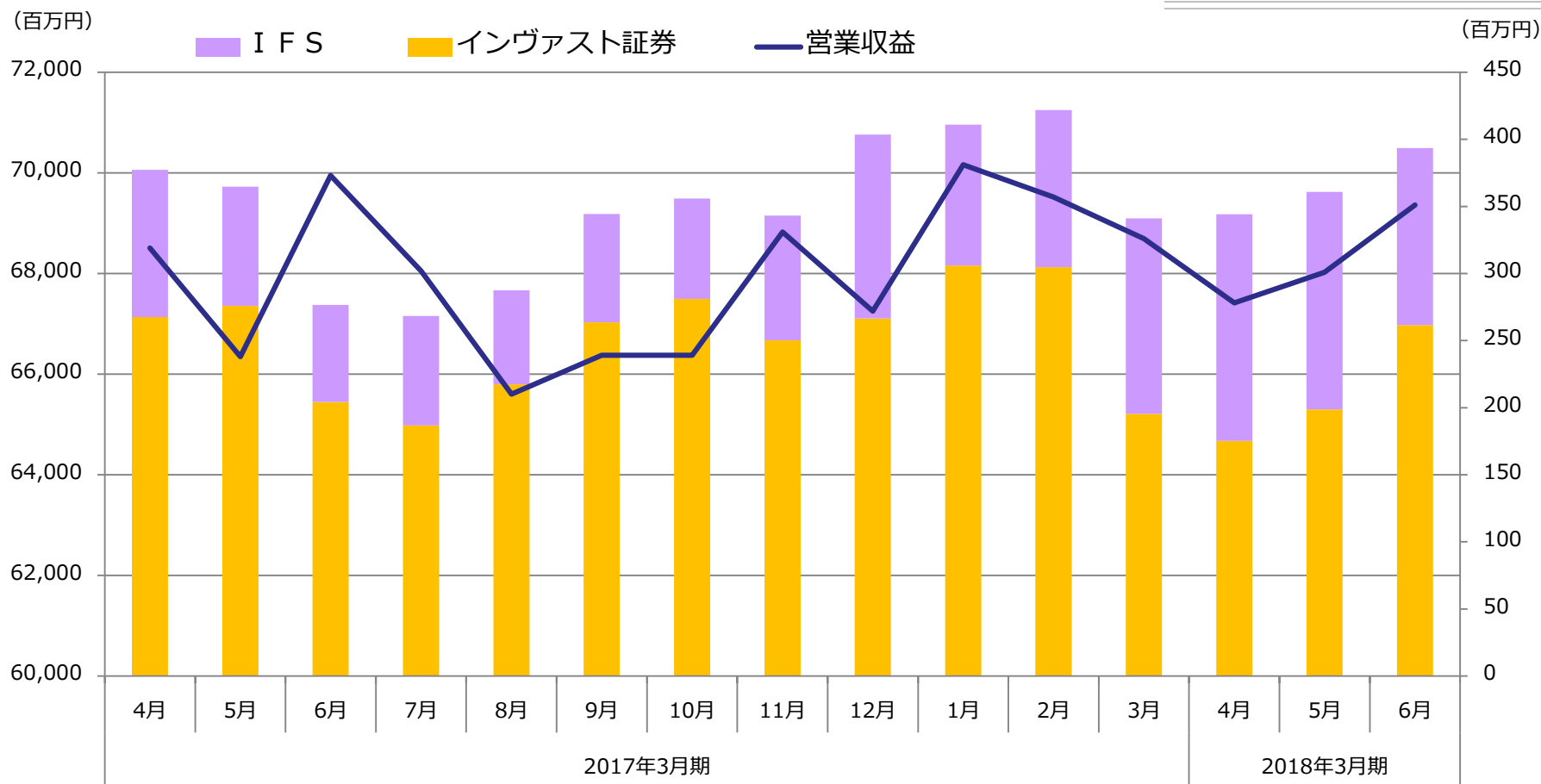
単位：百万円	2017年3月期				2018年3月期				対直前 四半期 増減率 (17/4Q比)	対前年 四半期 増減率 (17/1Q比)
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q		
国内金融事業（当社）										
純営業収益	782	603	655	728	710				△2.4%	△9.2%
セグメント損益	64	△131	△174	31	40				+26.6%	△37.2%
海外金融事業（海外子会社 I F S）										
純営業収益	144	139	177	319	229				△28.4%	+59.1%
セグメント損益	10	5	27	122	54				△55.2%	+400.0%

・報告セグメントの変更について

2018年3月期より、報告セグメントを従来の「取引所 F X 取引」、「店頭 F X 取引」、「店頭 E T F 取引」および「海外金融事業」の4区分から、「国内金融事業」および「海外金融事業」の2区分に変更しております。

変更の理由は、経営資源配分や投資などの経営判断を国内事業と海外事業という区分毎に行っているという経営管理体制の実態等を鑑み、「取引所 F X 取引」、「店頭 F X 取引」、「店頭 E T F 取引」を集約し、「国内金融事業」とすることが合理的であり、より適切であると判断したことによるものです。

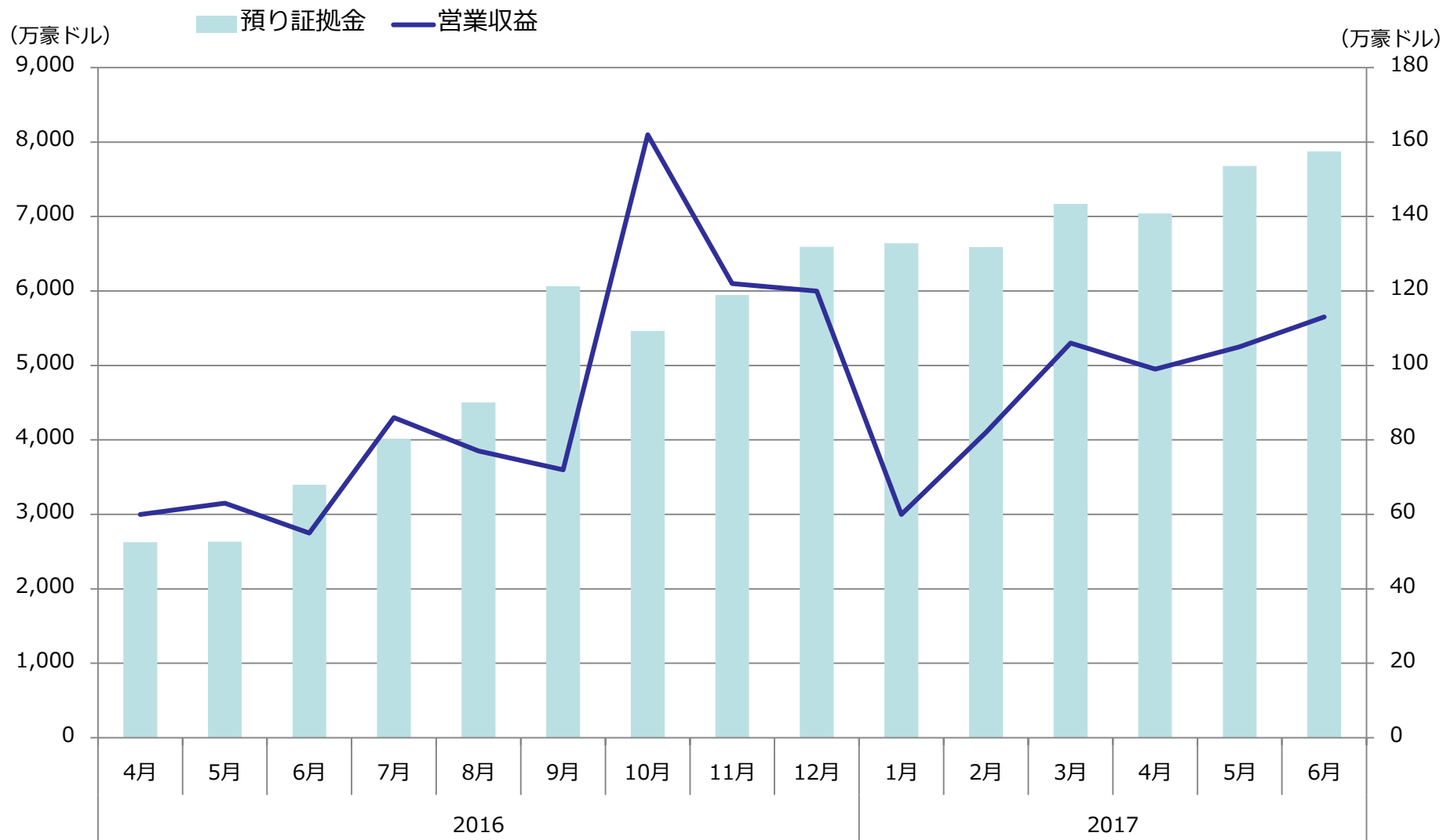
【連結】 営業収益・預り証拠金推移



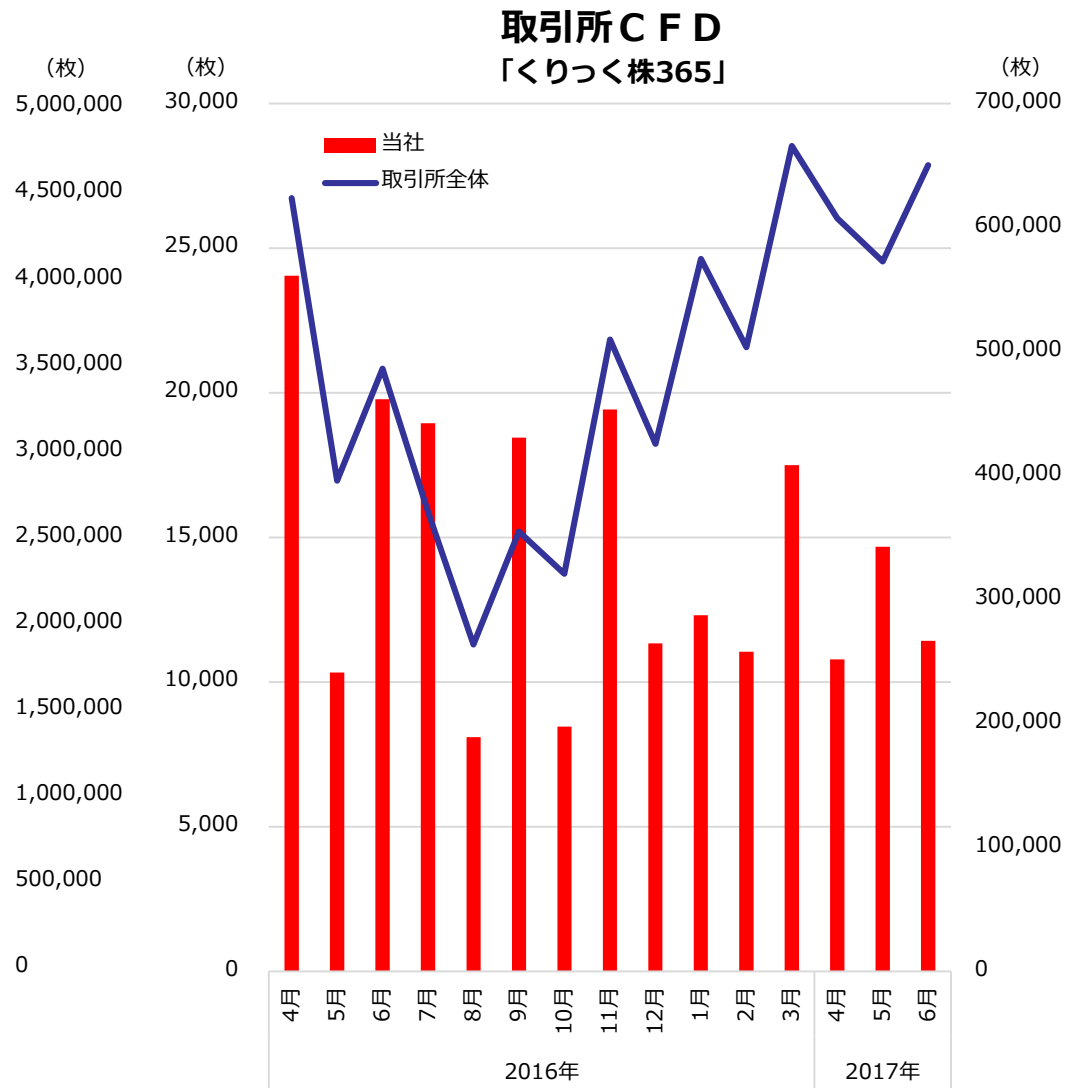
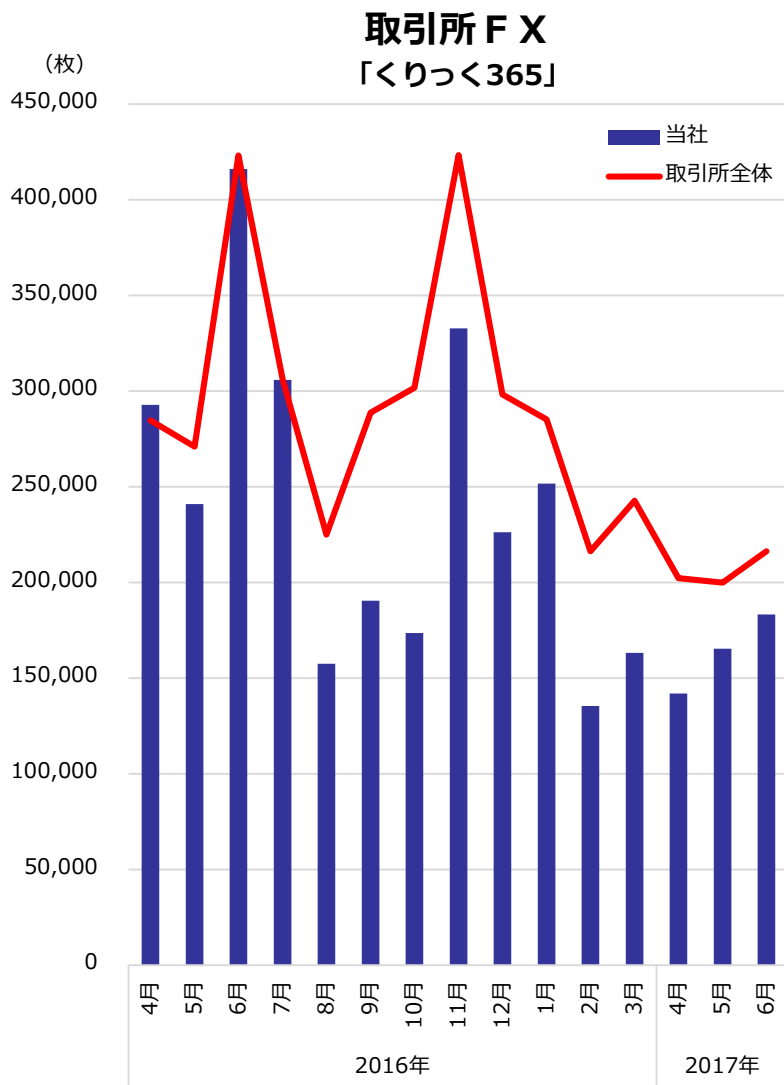
- (注) 1. 連結子会社 I F S の決算日は12月末となっているため、上記数値は、発生から3ヶ月遅れで連結しております。
 2. I F S の営業収益等は、月中平均為替レートを用いて円換算しております。
 3. 2017年3月より、「くりっく株365」事業に係る預り証拠金の表示方法を変更したことにより、当該事業に係る預り証拠金が減少しております。



【IFS】 営業収益・預り証拠金推移

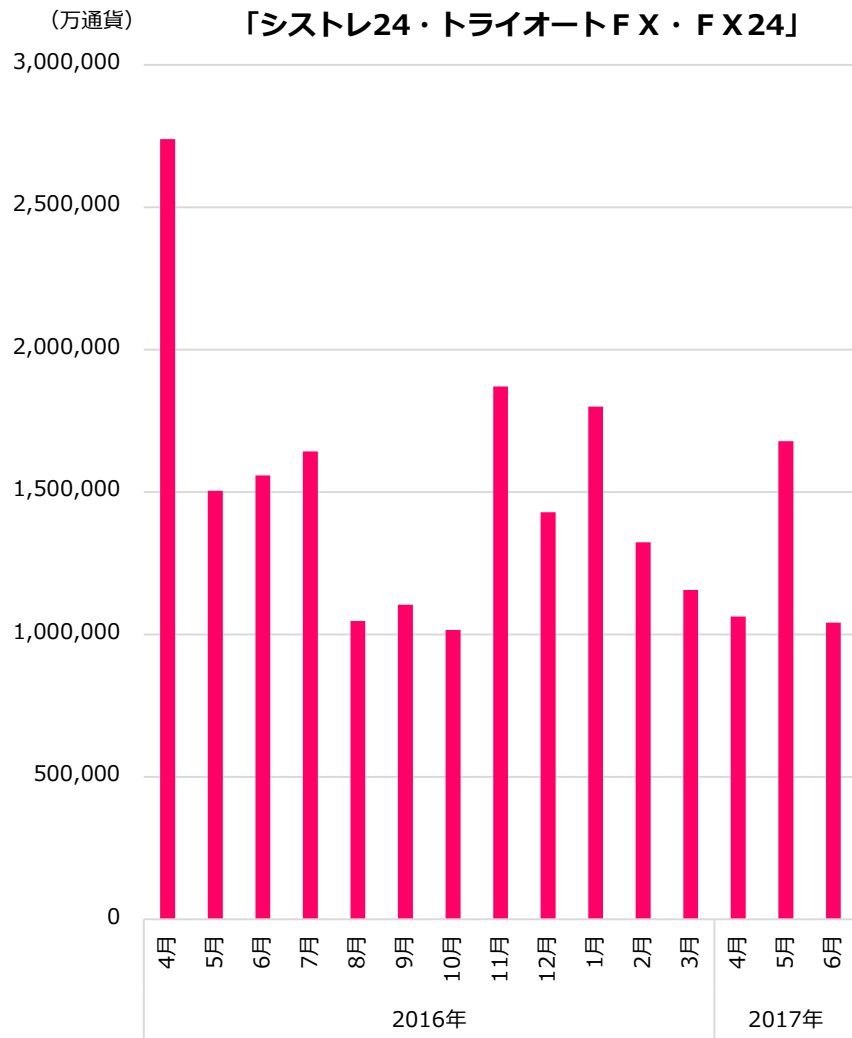


【取引所FX・取引所CFD】取引高推移

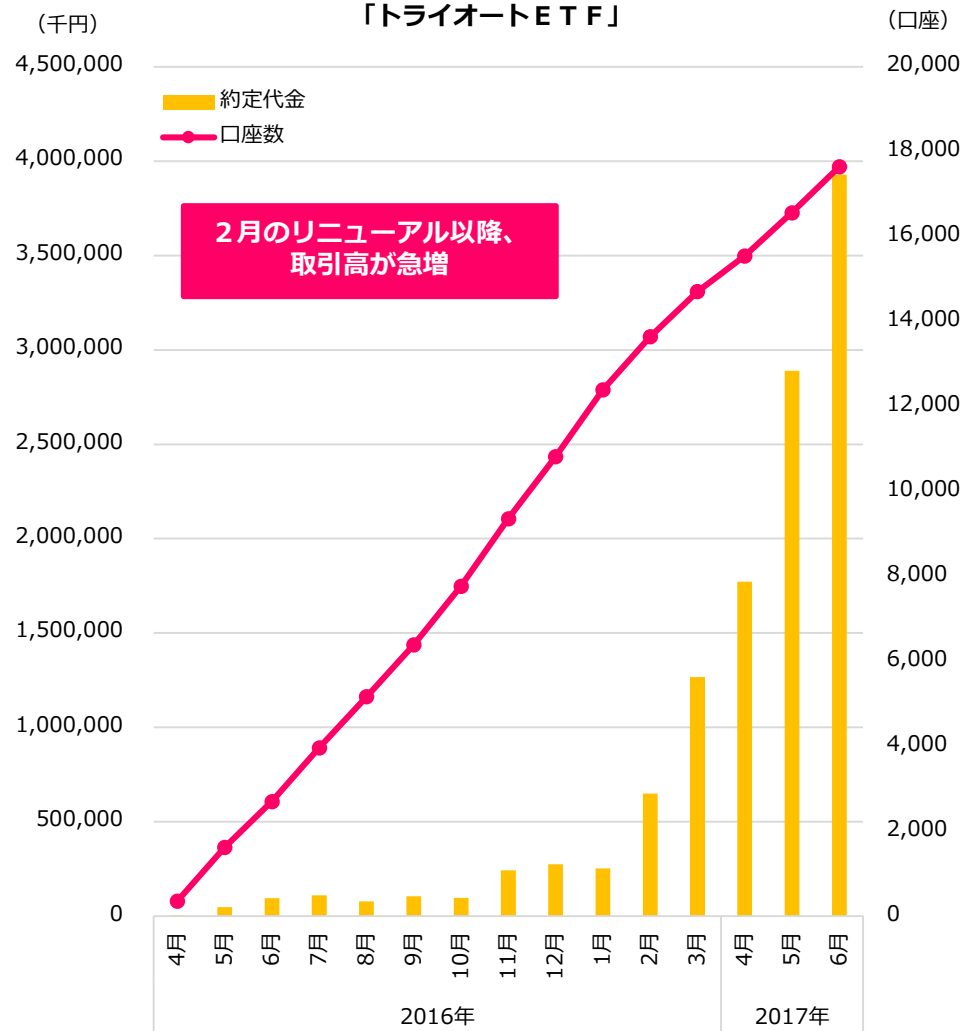


【店頭FX・店頭ETF】取引高推移

店頭 F X
「シストレ24・トライオートFX・FX24」



店頭 E T F
「トライオートETF」



主要経営指標推移

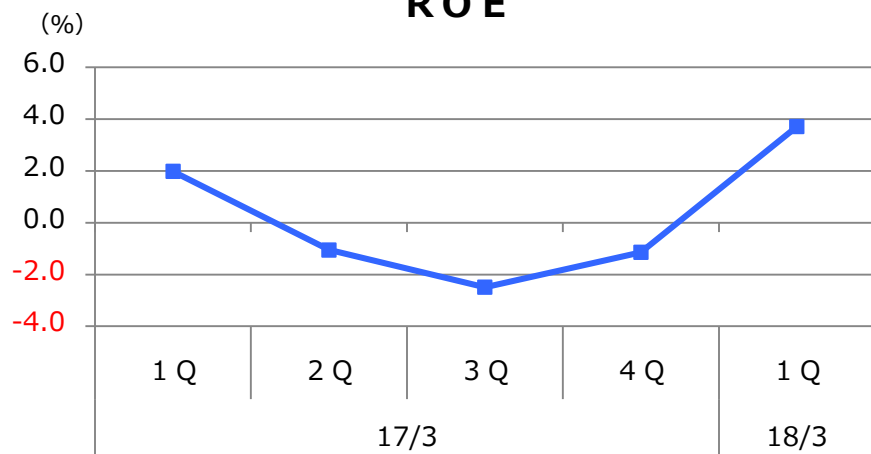
	2017年3月期				2018年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
ROE (%)	2.0	△1.1	△2.5	△1.1	3.7			
営業収益経常利益率 (%)	7.7	△17.4	△18.0	13.1	10.5			
EBITDA (百万円)	159	△44	△70	218	177			
自己資本規制比率 (%)	1156.1	1096.5	1068.2	807.2	760.8			

※ 1. ROEは、四半期純利益を年換算して算出しております。

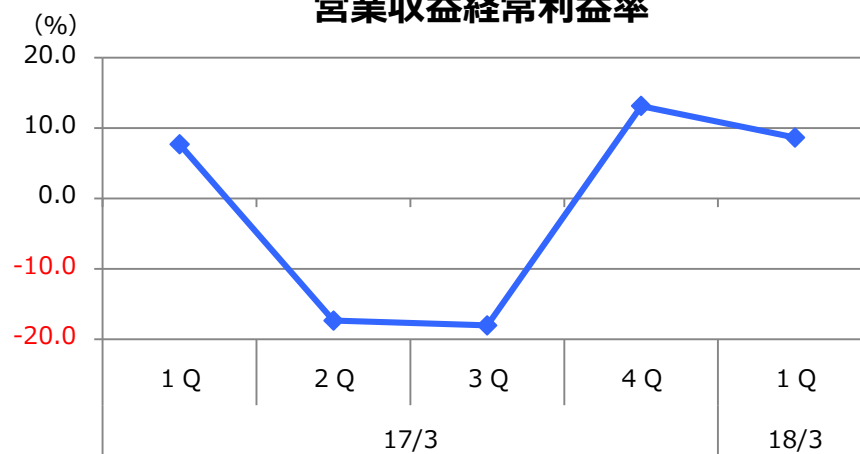
EBITDAは、「税金等調整前四半期純利益－特別損益＋支払利息＋減価償却費」で計算しております。

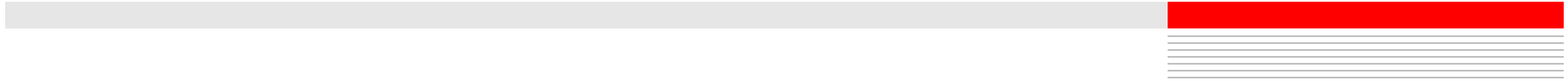
2. 2017年3月期末の自己資本規制比率の減少は、主に豪州子会社と銀行とのカバークレジット契約において、債務保証を行ったことによるものです。

ROE



営業収益経常利益率





トピックス

■ 更なるグローバル展開を見据えた新経営体制

- 6月28日開催の当社第58期定時株主総会決議において、連結子会社 Invest Financial Services (IFS) のCEOを務めるGavin White氏を新任取締役として選任、更なるグローバル展開を加速させる為、親会社の取締役として経営に参画
- 常勤監査等委員取締役が不在であった先期までの状態を改め、コーポレートガバナンスの強化を目的に同定時株主総会において安藤 聡氏を常勤監査等委員取締役に選任
- Information Technologyの管掌執行役員として、6月よりYounes Hairej氏が就任、Vision達成に向けたグローバルIT戦略の企画立案・実行を担当



Gavin White氏



安藤 聡氏



Younes Hairej氏

コーポレートサイト リニューアル

当社はお金に関する課題を解決するソリューションを生み出す事で、「世界をもっと、良い場所にする」というミッションを掲げております。国内金融事業における現時点の課題解決ソリューションは、テクノロジーを活用した最新の自動売買で、シストレ24やマネーハッチがそれに当たります。

今後、全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出すというビジョンに向けた取り組みを更に強化していく上で、当社の目指す方向をより多くの方にご理解頂く必要があると考え、サイトのリニューアルを実施いたしました。



新コーポレートサイト
<https://www.invast.jp/company/>

米国「500 Startups」が運営するファンド 「500 Fintech L.P.」への出資を行いました。

「500 Fintech L.P.」は、主に金融テクノロジー分野におけるアーリーステージ企業を投資対象としており、当社は本ファンドへの出資を通じて、FinTech業界の情報収集を行うとともに、出資先企業との事業連携等も視野に入れ、当社のグローバル展開を加速させてまいります。 ※当社は、既に同社運営の別ファンド（「500 Mobile Collective L.P.」、「500 Durians II L.P.」）に出資しております。

ファンドの概要

名称	500 Fintech L.P.
ファンド規模	\$25,000,000 USD（ターゲット）
ファンド運営会社	500 Startups Management Company, L.L.C.
投資領域	主に金融テクノロジー分野におけるアーリーステージ企業

奨学金返済特別採用枠とは、採用時年収※の30%(上限)を
奨学金繰上返済原資として受け取れる

転職によるキャリアアップ + 奨学金の返済

という新しい採用の形

「大学生の2.6人に1人が奨学生」という、我が国の現状を
考えた時、人材紹介会社に支払う経費を
奨学金の繰上返済に充てる事が出来たら...

そんな思いからスタートした、
インヴァストの新しい採用の形です。

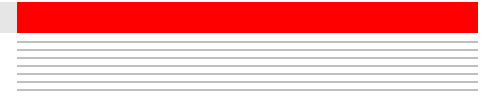
※採用時年収とは採用時に合意した月給の12カ月分に想定賞与額を加算した想定年収です。
※人材紹介会社を介さずに、当社へ直接応募し、採用された方の内、非給付型奨学金を返済中の方に限ります。

INVEST リクルート
奨学生限定 奨学金返済特別採用枠

INV@ST
1.8k 30



www.invest-recruit.com



Mission/Vision ・ 経営戦略

Mission 存在する目的

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。

私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに想い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人々が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

Vision 目指す姿

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ 金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たし、ビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

■ 私達のご提供するソリューション

私達のご提案

それは、テクノロジーを活用した自動売買サービス

■ シストレ24 フルオート

- ー 6,000種類以上のストラテジーを常時監視し、条件に合致する好調なストラテジーを自動的に選択
- ー 各ストラテジーは全世界から集められたアルゴリズム取引の自動売買プログラム

■ トライオートFX レンジ追尾

- ー 予め決めた価格帯（価格レンジ）のなかに、買い注文と売り注文を同時に複数設定することで、その価格帯のなかで価格が変動する限り、自動的に利益確定、新規発注を繰り返す

■ トライオートETF 自動売買セレクト

- ー トライオートETFの自動売買が簡単に始められる初心者の方におススメの機能
希望する投資スタイルを選ぶだけで、お勧めの銘柄×ロジックの組み合わせが表示される

■ 積立投資サービス マネーハッチ ※7/24サービス開始

- ー クレジットカードのポイント（還元率1%）が投資積立原資になる
- ー FXトレードが自動的に積立原資になる

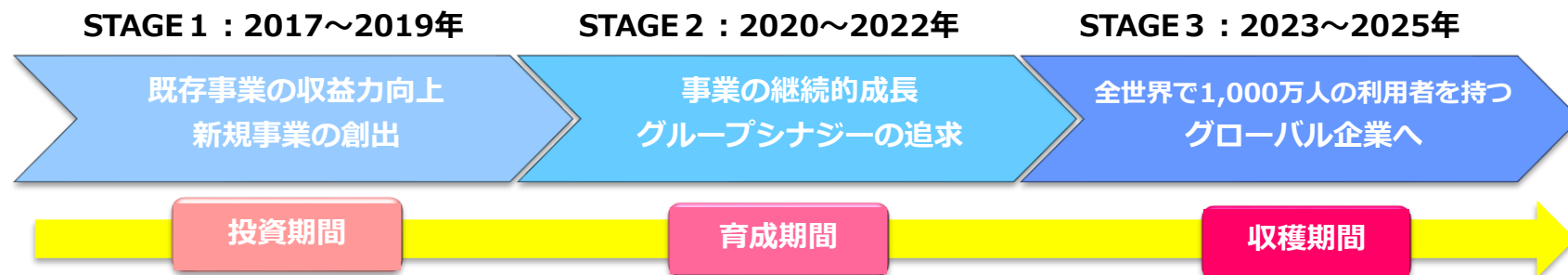
詳細は「マネーハッチ」

<https://moneyhatch.jp>



「マネーハッチ」画面イメージ

ビジョン達成に向けた経営戦略



経営戦略（STAGE1：2017～2019年）

① 既存事業の収益力向上

- ・ 独自の付加価値サービスの提供力強化（テクノロジーを活用した自動売買ソリューション）
- ・ 高い収益性、成長が見込める事業への優先投資
- ・ システム統合、内製化等によるコスト構造改革

② 新規事業の創出

- ・ 新たなビジネス領域への進出、F X 事業に次ぐ第2・第3の収益の柱を創る
- ・ 人々のお金に関する課題解決を軸とした事業模索（奨学金返済問題）
- ・ V C ファンド出資を通じたM & A、事業提携等

③ その他

- ・ 企業ブランドの構築
- ・ グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化



株主還元・配当政策

株主還元・配当政策

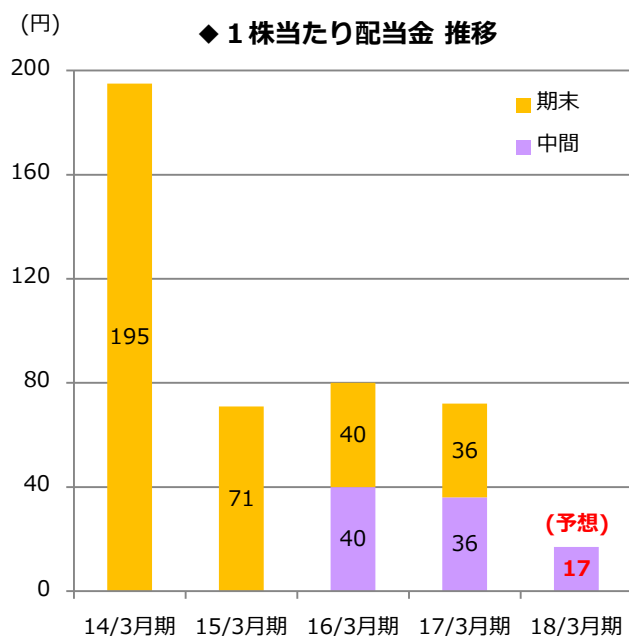
◆配当方針（2018年3月期以降）

連結配当性向30%または連結純資産配当率（D O E）2%（年率）のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の配当を実施

◆2018年3月期 配当

中間配当 17円（予想）

期末配当 未定



◆配当の実績

決算期		14/3月期	15/3月期	16/3月期	17/3月期	18/3月期
1株当たり 配当金額 (円)	中間	0.0	0.0	40.0	36.0	17.0 (予想)
	期末	195.0	71.0	40.0	36.0	未定
	合計	195.0	71.0	80.0	72.0	
当期純利益 (百万円)		3,931	496	△404	△118	
配当総額 (百万円)		1,137	416	469	422	
配当性向 (%)		30.2	83.4	—	—	
R O E (%)		32.0	4.0	—	—	
D O E (%)		9.6	3.3	4.1	4.0	
配当利回り (%) ※		14.8	6.1	5.9	5.5	

※各年度末の終値で算出

インヴァスト証券の会社概要（2017年6月30日現在）

■ 会 社 名	： インヴァスト証券株式会社（INVEST SECURITIES CO.,LTD.）
■ 所 在 地	： 東京都港区西新橋一丁目6番21号 NBF虎ノ門ビル
■ 設立年月日	： 1960年8月10日
■ 資 本 金	： 59億6,508万円
■ 上場取引所	： JASDAQ市場 2006年3月6日 証券コード：8709
■ 代 表 者	： 代表取締役社長 川路 猛（かわじ たけし）
■ 主要な事業	： 金融商品取引業（第1種/第2種/投資助言業） 関東財務局長（金商）第26号
■ 加入取引所	： 東京金融取引所